



社会福祉法人 大洲育成園

保育実習受入マニュアル

作成者	水本百合子
作成日	令和6年4月1日
最終更新日	令和6年4月1日

社会福祉法人 大洲育成園

障がい者支援施設 大洲育成園

1. 障がい者施設実習の目的

利用者との人間的ふれあいを通じて、利用者の生活と介護の機能並びに施設職員の一般的な役割について理解する。現場で働く人間関係のなかで体験的に実習することによって、これまで学んだ「知識」や「技能」を基礎として総合的に関連づける力と保育実践に応用する力を養う。

- (1) 施設の役割や機能を理解する。
- (2) 施設利用者に対する理解を深め、援助の方法を学ぶ。
- (3) 学生の学びポイント

生活支援実践の中で、例え生きていく上で必要な事象（食事を食べる、治療を受ける等）でも利用者の行動を誘導することが難しい場合もあります。また、実習生に行為を抱いて離れなくなる事もあれば、危険な行動をするため行動制止することも必要になります。実習生は初めての実践となり、多くの疑問や悩みが表出することもあると思いますので、職員は学生の想いを理解して指導に当たる必要があります。

2. 実習情報

実習名	履修年次	実習日数及び時間数
保育実習 I	1 年次及び 2 年次	10 日間 (80 時間以上)

※実習期間中に日数、時間数両方を満たす必要がある。

3. 実習概要

- (1) 実習場所
 - (イ) 実習場所は障がい者支援施設大洲育成園とする。また、実習生の性別と同様のフロアで実施し、1 日目～5 日目と 6 日目～10 日目でフロアの変更を行う。
- (2) 実習内容
 - (イ) 生活支援（歯磨き、バイタル測定、掃除、居室の整理等）
 - (ロ) 食事支援
 - (ハ) 入浴支援
 - (ニ) 日中活動支援
 - (ホ) 余暇支援

※実習業務は職員の補助程度で、一人で利用者の介助をしたりしない。
- (3) 実習時間
 - (イ) A 勤務(8:30～17:15 休憩：12:30～13:15)
 - (ロ) G 勤務(6:00～14:45 休憩：10:00～10:45)
 - (ハ) I 勤務(10:30～19:15 休憩：14:30～15:15)
- (4) 食事の時間
 - (イ) A 勤務 朝食：7：50 昼食：12：30 夕食：18：00
 - (ロ) G 勤務 朝食：7：30 昼食：11：30 夕食：18：00

(ハ) I 勤務 朝食：7：50 昼食：12：30 夕食：17：30

※G 勤務、I 勤務の食事は、衛生上の問題から実習の時間内で摂り、食事終了後速やかに実習に入る。

※G 勤務・I 勤務は夜勤者と一緒に行い、補助程度の業務を行う。

(5) 休憩場所は「指導室 2」を利用する。

(6) 実習担当職員には「実習責任者」「実習指導者」「実習担当者」をおく。

(イ) 実習責任者は全ての実習を統括指導する。

(ロ) 実習指導者は実習責任者不在の際にその代理となる。また、実習担当者の業務を兼任すると共に専門的知識の説明を行う。

(ハ) 実習担当者は実習生 1 人に対して当日出勤のフロア職員 1～2 名をおき、日々の業務、専門性、個人の特性説明、個別支援計画に沿った支援の指導を行う。

(7) 実習記録の提出は原則として翌日の実習開始時に指導員室へ提出する。職員の確認、所見の記入、実習指導者の確認後に返却する。

(8) 宿泊実習

(イ) 宿泊実習は、就労棟を使用する。

(ロ) 入浴は 1F 職員の浴室を利用する。

(ハ) 洗濯は 1F 洗濯場を利用して行う。洗濯後は乾燥機で衣類を乾かす。乾燥機の使用が済んだら電源を切る為、1F 女性夜勤者に洗濯が済んだことを報告する。

(ニ) ごみは分別して出す。

(ホ) 外出する際は職員に声を掛け、施設に戻ったら再度知らせる。

(9) 実習に際した注意事項

(イ) 毎日、実習に入る前に体調確認を行う。また、不調があれば報告する。

(ロ) 実習中の服装は、清潔で動きやすいものにする。

(ハ) 実習中は ID カードとマスターキー(玄関用・居室用)を使用し、実習終了日まで個人で保管する。宿泊棟、宿直室、倉庫など退室する時は忘れず施錠をする。

(ニ) 実習中は個人情報保護を遵守し、知り得た情報を外部に漏らしたりしないよう注意する。(写真を撮る、SNS に投稿するなど)

4.実習スケジュール

(1)仮スケジュール

1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目
オリエンテーション 現場実習 (1F 女性フロア)	現場実習 (1F 女性フロア)	現場実習 (1F 女性フロア)	現場実習 (1F 女性フロア)	現場実習 (1F 女性フロア)
6 日目	7 日目	8 日目	9 日目	10 日目
現場実習 (2F 女性フロア)	現場実習 (2F 女性フロア)	現場実習 (2F 女性フロア)	現場実習 (2F 女性フロア)	現場実習 (2F 女性フロア) 反省会

(2) 学習計画

期間	学習内容	学習方法
1 日目	法人紹介 ・理念、目的、目標、等 ・法人の取組 ・実習場所の説明（実習先フロア） 施設見学 ・施設の構造 ・設備の特徴 ・利用者への挨拶 ・職員紹介 現場実習	オリエンテーションや施設見学を実施後にフロアへの配属となる。 現場実習に入り、利用者の名前と顔、日中の業務について確認する。
2 日目 ～ 5 日目	現場実習	現場業務に従事しながら、利用者の特性の理解や支援技術を学ぶ。
6 日目 ～ 9 日目	現場実習（配属フロア変更）	フロアの変更に伴い、再度利用者の名前と顔、日中の業務について確認する。
10 日目	現場実習 反省会	午前中は現場実習、午後から反省会を行う。 実習指導責任者との反省会 ・実習中に実習生が管理している出勤簿を提出し確認をする。 ・実習中の感想など述べる。 ・食事代の確認と請求書の受け取り。 ※食事代は材料代のみ徴収する。 朝食 195 円 昼食 350 円 夕食 350 円 ※食事代は請求書扱いとし、実習後に法人の口座に振り込む。 ・書類提出について確認し、提出が後日になる場合は郵送の確認をする。

4.施設概要

- (1) 施設名称：社会福祉法人 大洲育成園
障がい者支援施設 大洲育成園
- (2) 所在地：〒795-0062 大洲市市木 1215
- (3) 電話番号：0893-25-5251
- (4) 施設長：池田隆三
- (5) 設置認可・開園年月日：昭和47年7月1日
- (6) 理念：社会福祉法人大洲育成園は、法令を遵守し地域の知的障害のある人たちのニーズに対応した福祉サービス事業を展開し、利用者の人としての尊厳を第一に、地域と共に歩む施設経営を目指します。
- (7) 基本目標：魅力ある園
楽しい園
明るい園
豊かな人づくりの園
健やかに共に歩む園
- (8) 実施事業（提供しているサービス）
 - (イ) 障害福祉サービス事業
 - ・施設入所支援（定員：74名）
 - ・生活介護（定員：74名）
 - ・短期入所（定員：7名）
 - (ロ) 相談支援事業
 - ・計画相談支援
 - ・委託相談
 - (ハ) 地域生活支援事業
 - ・日中一時支援事業（定員：10名）

5.評価

- (1) 実習の目的について
実習の目的として「1.実習施設の理解」「2.利用児童（者）とその生活の理解」「3.保育士の職務内容と役割の理解」「4.擁護活動の方法・技術の習得」を設定し、それらの達成を通じて学生が保育・養護の実践的能力を身に付けることを期待している。
- (2) 評価上の留意点
 - (イ) 評価項目に対して、実習生がどのくらい・どこまでできているかを客観的に評価する。その際、学生のもつ諸条件、健康状態を十分に考慮し評価する。
 - (ロ) 評価表は、今後の学生指導の参考になるものである。